

2章 学習のまとめ

この章で学習した内容をふり返ってみましょう。

符号のついた数 ▶ p.26

反対の性質をもつ数量は、基準を決めて、
正の符号＋，**負の符号－**を使って表すことができる。

正の数、負の数 ▶ p.29

0より大きい数を**正の数**，0より小さい数を**負の数**という。

絶対値 ▶ p.32

数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離を、その数の**絶対値**という。

数の大小 ▶ p.32

- 1 正の数は0より大きく、負の数は0より**小さい**。
- 2 正の数は、その絶対値が大きいほど大きい。
- 3 負の数は、その絶対値が大きいほど**小さい**。

正の数、負の数の加法 ▶ p.34

$$\begin{aligned}(-4) + (-3) &= -(4+3) \\ &= \boxed{-7} \\ (-4) + (+3) &= \boxed{-} (4 \boxed{-} 3) \\ &= \boxed{-1}\end{aligned}$$

正の数、負の数の減法 ▶ p.39

$$\begin{aligned}(-7) - (+2) &= (-7) + (-2) \\ &= \boxed{-9} \\ (-7) - (-2) &= (\boxed{-7}) + (\boxed{+2}) \\ &= \boxed{-5}\end{aligned}$$

正の数、負の数の乗法 ▶ p.46

$$\begin{aligned}(-4) \times (-5) &= \boxed{+} (4 \times 5) \\ &= \boxed{20} \\ (-4) \times (+5) &= - (4 \times 5) \\ &= \boxed{-20}\end{aligned}$$

正の数、負の数の除法 ▶ p.52

$$\begin{aligned}(-8) \div (-2) &= \boxed{+} (8 \div 2) \\ &= \boxed{4} \\ (+8) \div (-2) &= - (8 \div 2) \\ &= \boxed{-4}\end{aligned}$$

2章で見つけた❗を
ふり返って、学習感想を
まとめてみましょう。

- わかったことや
よかったこと
- 大切だと感じたことや
気づいたこと
- さらに学習して
みたいこと など



負の符号を使うことで、0よりも小さい数を考えることができるようになった。

負の数を学習したので、小学校ではできなかった3-5のような減法ができるようになった。

符号や絶対値などに着目して、正の数、負の数の計算のしかたを見いだすことができた。

正の数、負の数を使うことで、平均を効率よく求めることができた。

